

板倉町 令和4年度 決算



一般会計 基本的な行政運営のための会計

令和4年度決算
 一般会計は、緊急避難場所整備事業を進めたことなどにより、歳入、歳出ともに令和3年度に比べ増加しました。基金(町の貯金)は、令和3年度の歳入歳出差引額の一部や、交付税の増額分などを積み立てたため32億3,151万円から37億3,244万円へと約5億円増加し、借入金残高は、返済が進み、42億9,268万円から42億8,333万円へと8,435万円減少しました。
 歳入歳出差引額は、6億7,948万円でした。これは、基金への積立と令和5年度の事業費に充てます。

県支出金 農業関係の補助金が増えたことなどにより、2,952万円の増となりました。
町債 緊急避難場所整備や旧八間樋橋の撤去などの事業により借入が増加しましたが、臨時財政対策債の借入の減少により、2,150万円の減となりました。
地方消費税交付金 405万円の増となりました。なお、この交付金のうち、社会保障財源化分の約2億円は、福祉医療費をはじめとした各種社会保障関係経費の財源に充てました。
一般会計歳出
 (増減は令和3年度比)
 歳出総額は、63億8,612万円で、3億9,473万円増加しました。
民生費 令和3年度に行った子育て世帯に対する臨時特別給付金などが終了したため、2億1,763万円の減となりました。
総務費 燃料・物価高騰などへの対応として、国からの交付金を使い燃料券や商品券の配布などを行ったため、2億192万円の増となりました。
消防費 緊急避難場所整備

事業の工事実施などにより、3億3,246万円の増となりました。
教育費 教育指導員の拡充や施設光熱水費の増加などにより、3,308万円の増となりました。
衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種日数の減少などにより、1,326万円の減となりました。
土木費 旧八間樋橋の撤去工事や下水道事業特別会計への繰出の増加などにより、8,002万円の増となりました。
公債費 返済が終了した借入が多く、626万円の減となりました。
農林水産業費 降ひょう被害への支援などにより、2,916万円の増となりました。
問合せ 財政係
 82-61126



旧八間樋橋撤去工事

特別会計 一般の歳入・歳出と区分して経理を明確にするために法令や条例に基づいて設ける会計

特別会計決算額

事業名	歳入総額	歳出総額	差引残額
後期高齢者医療	1億8,806万円	1億8,535万円	271万円
国民健康保険	19億3,221万円	18億5,540万円	7,681万円
介護保険	12億7,971万円	12億3,546万円	4,425万円
下水道事業	2億3,281万円 (4,231万円)	1億9,085万円	4,196万円

下水道事業の()内は、歳入総額のうち一般会計からの基準外繰入金

財政状況は健全 健全化判断比率は基準値以下

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和4年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率を公表します。いずれの比率も財政上問題があると国が判断する「早期(経営)健全化基準」を下回っています。

健全化判断比率

区分	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	15.00%
連結実質赤字比率	-	-	20.00%
実質公債費比率	6.5%	6.2%	25.00%
将来負担比率	-	-	350.0%

○実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示
 ○連結実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示
 ○将来負担比率は、将来負担額に充てることができる財源等が将来負担額を上回っているため「-」と表示

資金不足比率

特別会計の名称	令和4年度	令和3年度	経営健全化基準
下水道事業特別会計	-	-	20.0%

○資金不足比率は、資金不足でないため「-」と表示

実質赤字比率 町の一般会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

連結実質赤字比率 町のすべての会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

実質公債費比率 町の一般会計が負担する借入金の返済費やこれに準じるものの支払いが、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

将来負担比率 町の一般会計が将来負担すべき実質的な負債が、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

資金不足比率 町の下水道事業特別会計の資金の不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

歳出 63億8,612万円 歳入 70億6,560万円

一般会計歳出決算額

内訳	決算額
民生費	17億6,013万円
総務費	14億1,121万円
消防費	6億2,639万円
教育費	6億137万円
衛生費	5億7,883万円
土木費	5億355万円
公債費	4億2,738万円
農林水産業費	3億1,537万円
その他	1億6,189万円
歳出合計	63億8,612万円

用語解説 民生費…幼児や高齢者などの福祉に使用/総務費…町の一般的な管理事務に使用/消防費…消防・防災のために使用/教育費…小中学校や公民館の経費、文化・スポーツ活動に使用/衛生費…ごみ・し尿の処理や住民健診に使用/土木費…道路や河川、公園などの整備・維持管理に使用/公債費…借入れたお金の返済に使用/農林水産業費…農業や畜産業の振興、土地改良などに使用

一般会計歳入決算額

内訳	決算額
町税	22億2,128万円
地方交付税	15億620万円
国庫支出金	9億7,648万円
繰越金	8億8,481万円
県支出金	4億4,458万円
町債	3億3,400万円
地方消費税交付金	3億5,854万円
その他	3億3,971万円
歳入合計	70億6,560万円

用語解説 町税…町民税や固定資産税などの税金/地方交付税…財政状況に応じて交付される税金/国庫支出金・県支出金…特定の事業を行うために国や県から交付される補助金など/繰越金…前年度からの持ち越し金/町債…借入金/地方消費税交付金…消費税の一部からの交付金

一般会計積立金現在高

内訳	令和4年度	令和3年度	増減率
財政調整基金	33億3,837万円	28億3,892万円	17.6%
減債基金	6,924万円	6,923万円	0.0%
その他特定目的基金	3億2,483万円	3億2,335万円	0.5%
合計	37億3,244万円	32億3,151万円	15.5%

一般会計地方債(借入金)現在高

令和4年度	令和3年度	増減率
42億833万円	42億9,268万円	△2.0%

一般会計歳入
 (増減は令和3年度比)
 令和4年度の歳入総額は、70億6,560万円で、1億8,940万円増加しました。
町税 税収は、22億2,128万円で、約0.2%、451万円の減となりました。
地方交付税 臨時経済対策費が減額され、5,432万円の減となりました。
国庫支出金 西岡地区、海老瀬地区の緊急避難場所整備事業への補助や、燃料・物価高騰対策事業への交付金があったため、8,879万円の増となりました。
繰越金 令和3年度の歳入歳出差引残額が繰り越されて、令和4年度に引き継がれたものです。
 海老瀬地区(上)・西岡地区(下) 緊急避難場所



海老瀬地区(上)・西岡地区(下) 緊急避難場所